

宮前区の ミライづくり プロジェクトニュース

第2号

Q1 なぜ、区役所、市民館、図書館は移転するの？

A1 移転・整備によって、アクセスやバリアフリーなど現施設の課題の解消に加え、施設の利便性、耐震性、機能性向上などの効果が期待されます。このほか、区民意見としていただいた課題への対応を含め、現施設の継続利用と移転・整備の検討を行った結果、今回の再開発に合わせて移転・整備し、持続可能で宮前区全体の活性化を促す「核」としてのまちづくりを進めていくこととしました。

Q2 鷺沼駅前に移転すると、遠くなって不便になる地域もあるのでは？

A2 再開発で、鷺沼駅のバスターミナルを約2倍の広さにします。小田急沿線からバス路線の新設や、向丘地区からの増便など、区民の皆さまの利便性向上と、宮前区全体の発展に向け、バス事業者と連携した取組を進めていきます。

Q3 新しい宮前市民館・図書館や区役所は、いつ、どこにできるの？

A3 再開発計画(施設計画や機能)の検証状況等を踏まえ、現時点の想定では、市民館・図書館は令和8(2026)～9(2027)年度頃、駅前街区の再開発ビルの低層階に整備する計画です。また、区役所は令和11(2029)～13(2031)年度頃、北街区の再開発ビルの低層階に整備する計画です。

Q4 新しい宮前市民館・図書館の施設規模は「現施設と同程度を基本」とされているが、コロナ禍でゆとりある空間の確保が必要では？

A4 今後、利用者増の見込みや多様なニーズ等を精査し、両施設の共用化、多機能化や民間との共用スペースの効果的かつ連続的な利用等の工夫など、具体的な施設づくりに向けて、全庁的な新型コロナウイルス感染症対策も踏まえて、基本・実施設計や管理運営計画の策定の中で検討していきます。また、再開発建築物全体でポストコロナを見据えた多様化するニーズ等にも応じられるよう民間スペースとの連携も含めた対応を、準備組合と協議・調整していきます。

Q5 現在の宮前区役所や市民館・図書館はどうなるの？

A5 現在の宮前区役所や市民館・図書館は鷺沼駅周辺に移転します。鷺沼駅周辺に新施設がオープンしたあとの現在の施設・用地の使い方については、令和3(2021)年度以降、区民の皆さまのご意見を伺いながら、検討していきます。

Q6 現在の建物は、今後は使えないの？

A6 現在の区役所・市民館・図書館の建物は、長寿命化や修繕の検討を行った上で使い続けられる可能性はありますが、バリアフリー面などの課題は残ります。令和3(2021)年度以降、新たな使い方での活用に向けて、継続利用のメリット、デメリットなどを整理し、区民の皆さまのご意見を伺いながら、検討していきます。

Q7 向丘出張所はどうなるの？

A7 地域の皆さまの身近な拠点として、より一層利用していただけるよう、出張所の機能や活用方法について、地域の皆さまと一緒に検討しています。令和3(2021)年度中に方針を策定する予定です。

Q8 高層マンションは周辺環境への影響(風害・交通渋滞)が心配では？

A8 令和2(2020)年6月に準備組合により公表された環境アセス準備書において、風害、地域交通等の環境配慮項目に関する予測結果が示され、環境保全措置等を講じることで計画地周辺地域の生活環境の保全に支障はないものと評価されていますが、施設計画の検証結果を踏まえて、改めて関係法令等を踏まえた計画となるよう、協議・調整を行っていきます。

Q9 フレル鷺沼は無くなってしまふの？

A9 再開発事業の推進にあたり、撤去されることとなりますが、工事期間中は仮設店舗の設置など、生活利便機能の継続について検討していくとのことです。

Q10 施設計画の検証結果はいつ頃公表されるの？

A10 本ニュースレターに掲載した整備イメージ(案)の実現に向けて、今後、準備組合による施設計画の検討が進められることとなりますが、本市としても、再開発事業の早期着手に向けて、令和3(2021)年内の環境アセス・都市計画手続き再開のタイミングに併せて、計画案を公表する予定です。

鷺沼駅周辺では、現在、再開発準備組合(以下、「準備組合」という)による再開発事業の検討が進められています。川崎市では、再開発の機会を捉えて、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進するため、平成31(2019)年3月に「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を策定しました。

この方針に基づく取組を「宮前区のミライづくりプロジェクト」と名付け、「新宮前市民館・図書館・区役所の移転・整備」、「現在の区役所などの施設や用地の活用」、「向丘出張所の機能のあり方」、「駅へのアクセス向上」等について、検討を進めています。

そしてこの「宮前区のミライづくりプロジェクトニュース」では、引き続き、各取組や再開発事業の状況等についてお伝えしていきます。(プロジェクトニュース第1号は、令和2(2020)年2月に発行しています)

公共機能の方向性について

- 1 宮前区役所・市民館・図書館を鷺沼駅周辺に移転・整備します
- 2 民間事業者と連携し、文化・交流拠点を創ります
- 3 現区役所等施設・用地の活用は市民参加で検討します

宮前区のミライづくりプロジェクトの概要について



全体スケジュール(予定)について

現在行われている再開発計画の検証(詳細は中面をご覧ください)を踏まえて、現時点で想定する今後の取組スケジュールは、次のとおりです。

年度	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)～R9(2027)	R10(2028)～R13(2031)	
ミライプロジェクト	基本方針策定	基本的な考え方・基本計画策定	設計・管理運営計画策定	整備工事	R8～R9 新宮前市民館・図書館OPEN		
		施設全体の設計との調整	基本計画策定・設計	整備工事	R11～R13 新宮前区役所OPEN		
		基礎調査・市民参加による検討	活用基本方針策定(R5)	方針に基づく取組の推進			
		市民参加による検討	活用方針策定(R3)	方針に基づく取組の推進			
再開発	計画検討	環境アセス手続 都市計画手続	実施設計	駅前街区工事	R8～R9 供用開始	北街区工事 R11～R13 供用開始	

お問い合わせ先

- 再開発事業など、まちづくりに関すること
まちづくり局地域整備推進課 TEL:044-200-0483
- 市民館・図書館に関すること
教育委員会事務局生涯学習推進課 TEL:044-200-1981
- 区役所に関すること 宮前区役所企画課 TEL:044-856-3170
- 現区役所等施設・用地の活用に関すること
財政局資産運用課 TEL:044-200-2346(～令和3(2021)年3月)
総務企画局公共施設総合調整室 TEL:044-200-2346(令和3(2021)年4月～)
- 向丘出張所の機能検討に関すること 市民文化局区政推進課 TEL:044-200-2309

**ホームページなどで
取組内容をお知らせ中!**

ニュースレター第1号もこちらでご覧になれます。

ネット質問フォームを設置しています!

令和3(2021)年4月30日まで、本プロジェクトへの質問を受け付けています。市ホームページの質問フォームかFAX(FAX200-3967)でまちづくり局地域整備推進課まで。いただいた質問については、質問の要旨と本市の見解をあわせて市ホームページ上に公表します。

宮前区 ミライづくり

1 新宮前市民館・図書館・区役所の整備に向けた取組

令和2(2020)年度は、これまで市民の皆さまからいただいたご意見等を踏まえ、8月に「新しい宮前市民館・図書館基本計画」を策定しました。

【新しい宮前市民館・図書館の基本理念】

「市民の力で成長し続ける 宮前区らしいスタイルの市民館・図書館」

～多様な人々が交流し、つながり、新たなコミュニティ～
生活・文化・教養を創発し、地域への愛着を育む場づくりをめざして～

【新しい宮前市民館・図書館の基本方針】

行きたくなる市民館・図書館	まちに飛び出す市民館・図書館	地域の“チカラ”を育む市民館・図書館	空間・機能が“融合”する市民館・図書館	区役所・民間等と“連携”する市民館・図書館
---------------	----------------	--------------------	---------------------	-----------------------

また、新しい市民館・図書館で行われる事業や使用ルール等を定める管理運営計画を皆さまと一緒に考えるために、ワークショップ(全9回)を行っています。詳しくは「あたらしい宮前市民館・図書館を考えるワークショップニュースレター」をご覧ください。

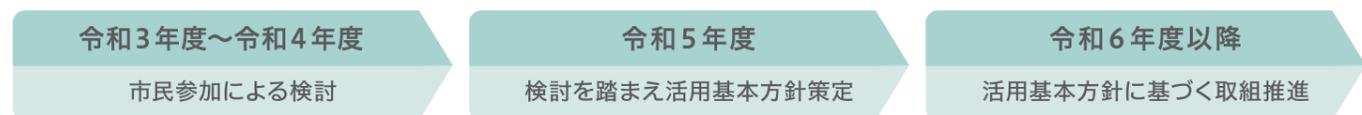
詳しくはこちら



2 現区役所等施設・用地の活用に向けた取組

現在の宮前区役所等の施設・用地の活用については、「①市による施設・用地の保有」、「②宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた課題やニーズの整理」、「③市民参加による検討」を基本的な考え方として検討することとし、これまで、地域課題の整理などに取り組んできました。

令和3(2021)年度以降は、再開発事業の進捗状況を踏まえつつ、市民の皆さまのご意見を伺いながら、令和5(2023)年度の「(仮称)宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針」(活用基本方針)の策定に向け、取組を進めていきます。



3 向丘出張所の機能検討に関する取組

現在、「むかいがおか 出張所×まちづくり アイデアカイギ」(全3回)を開催し、地域と出張所のミライについて、参加者同士で話し合いを進めています。その他、関係団体へのヒアリングを行うなど、地域の皆さまから様々なご意見をいただいています。

令和3(2021)年度は、いただいたご意見等をとりまとめ、「(仮称)向丘出張所の今後の活用に関する方針」の策定に向け、取組を進めていきます。

詳しくは「みんなでつくる むかいがおかミライ通信(ニュースレター)」をご覧ください。



みんなでつくる むかいがおかミライ通信



「アイデアカイギ」の様子



詳しくはこちら

4 駅アクセス向上に向けた取組

再開発事業により、交通広場の拡充整備や交差点の集約化など、駅周辺の交通環境の改善を行います。また、路線バスネットワークの充実に向け、今後、交通広場の供用開始時期を見据え、バス事業者と連携した取組を進めます。

再開発計画(施設計画や機能)の検証について

令和2(2020)年11月、準備組合から、新型コロナ危機を契機として、再開発計画(施設計画や機能)の再検証を行いたい旨、市に対して申し入れがあり、それに対する市の取組方針や具体的な取組・スケジュール等を整理しました。

再開発計画の検証に関する申し入れ(骨子)(令和2(2020)年11月 準備組合)

- 基本方針を踏まえつつ、引き続き、再開発事業を推進
- オープンスペースの重要性や職住近接のニーズに対応し、将来にわたり市民が、安心・快適に利用できる施設計画や機能について再度検討
- 早期着手に向けた取組を推進

①広場 環境共生型の開放的なオープンスペース	②開放 密閉空間から開放する縁的半外部空間	③境界 商業・公共を融合するボーダーレスな機能構成	④職住 職住近接を実現する新たなワークプレイス	⑤流動 内外からの人の流れを促す流動・動線計画
---------------------------	--------------------------	------------------------------	----------------------------	----------------------------

【参考】新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性(論点整理)(令和2(2020)年8月国公表)

新型コロナ危機を契機とした今後の都市政策の方向性(要点)

都市の持つ集積のメリットを活かして、国際競争力強化やコンパクトシティなどは引き続き進めつつ、「三つの密」の回避など「ニューノーマル」に対応したまちづくりが必要

- ・職住近接のニーズに対応したまちづくりの推進
- ・緑やオープンスペースの柔軟な活用 等

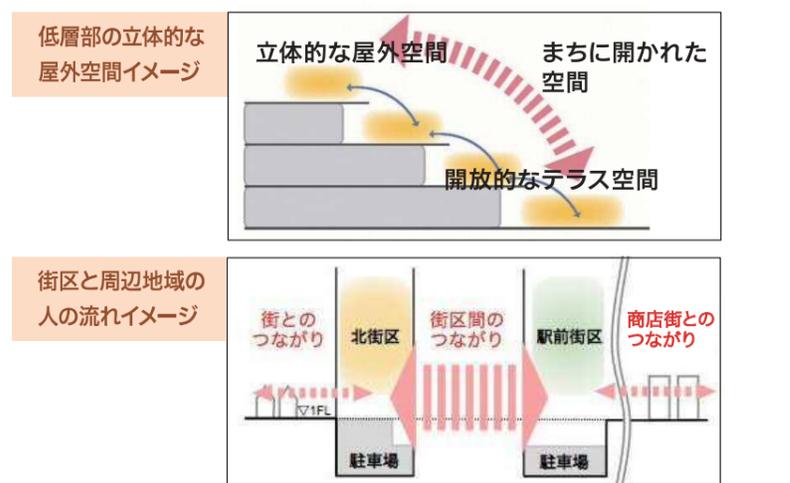
具体的な取組

検証の視点を踏まえ、準備組合が検討している整備イメージ(案)は次のとおりです。今後、これらの実現に向けて、準備組合による施設計画の検証が進められます。

検証の視点	整備イメージ(案)
①広場	広場空間に加え、低層部で、立体的かつ開放的な屋外空間を創出
②開放	異なる用途を近接させ、相互に融合するような構成で計画
③境界	郊外における働く環境を整備し、職住近接のニーズに対応
④職住	周辺地域との人の流れと連携を促進する、デッキ等の基盤の拡充整備
⑤流動	

※写真は参考イメージであり、実際のものとは異なります

(参考)現時点での検討イメージ ※準備組合提供資料



導入機能の配置イメージ



※駅周辺交通環境の改善などの都市基盤整備については、現行案を踏襲します。(容積率は500%以内)